

次代へつなぐ

確かな基盤

〈経済・環境の取り組み〉

津市では産業拠点として、ニューファクトリーひさい、中勢北部サイエンスシティへの企業誘致を進め、合わせて85社が進出。多様な産業が集結することで、社会情勢の変化に強い「しなやかな産業構造」の構築につなげました。

また、美杉地域での森林セラピー基地の創出や榊原温泉湯の瀬のリニューアルなど地域資源を生かした取り組みを展開。平成28年に開業した道の駅津かわげは累計来客者719万人を達成するなど、観光誘客も拡大しました。

農林業分野では、令和元年度から農業委員やJAなど関係5者が意見交換を行う、令和版営農会議を市内12エリアで開催。令和7年には地域農業の将来像を示す地域計画を100地区で策定し、持続可能な農業の実現に向け、検討を進めています。

さらに、平成31年の森林経営管理法施行と森林環境譲与税の創設に伴い、森林管理等の意向を調査。58%の所有者の意向

を把握し、境界明確化や管理集約を進め、間伐による森林整備を推進しました。

環境分野では、平成28年に全国初の埋立前洗浄システムを備えた一般廃棄物最終処分場と、資源化を高める中間処理施設であるリサイクルセンターの供用を開始し、最終処分量は平成27年度の7410tから令和6年度には1794tへと削減しました。また、地域脱炭素宣言を行い、市民・事業者等と共に脱炭素行動を実践・実行・実施していくことで、地域脱炭素社会の実現を目指しています。

モーターボート競走事業では、外向発売所の設置やスマホの普及を生かした電話投票など、発売形態の多様化により売上不振を克服。平成28年度以降、令和7年10月までに収益金から総額136億円を繰り出し、「こども基金」や「学校施設整備基金」の創設を始め、津市の施策に役立てています。

築き上げた確かな基盤に磨きをかけ、津市を次代へとつないでいきます。

※文中・年表の数字は全て令和7年3月末現在

津市は合併20周年

平成18年1月1日、平成の大合併といわれる中でも、津市・久居市・河芸町・芸濃町・美里村・安濃町・香良洲町・一志町・白山町・美杉村の10市町村による大きな合併で、「津市」が誕生しました。令和8年1月に合併20周年を迎えることを記念し、6月号から7回にわたりカテゴリ別に20年の歩みを振り返っています。



ビジネスサポートセンターがある「あのつピア」



ボートレース津の有料指定席エリア

2024



ごみ出しサポート収集事業



一般廃棄物最終処分場



リサイクルセンター

2016



道の駅津かわげ

令和7
2025

令和6
2024

令和5
2023

令和4
2022

令和3
2021

令和2
2020

平成31
2019

平成30
2018

平成29
2017

平成28
2016

平成27
2015

平成25
2013

平成24
2012

平成23
2011

平成21
2009

平成20
2008

平成19
2007

平成18年1月1日 新津市誕生

● 津市観光協会設立

● 鳥獣害防止対策推進協議会を発足

● 東海地方初の森林セラピー基地として美杉地域が認定

● ボートレース津外向発売所「津インクル」を開業

● 創業支援ネットワーク「創業サポートネットワーク津」を設立

● ニューファクトリーひさいへの企業誘致完了(7社)

● 空地・空家の相談窓口設置

● 津のまち音頭「つう津々浦々」完成

● 一般廃棄物最終処分場とリサイクルセンターの供用を開始

● 「道の駅津かわげ」を開業

● 地域に寄り添う獣害対策相談チームを結成

● ビジネスサポートセンターを開業

● 大型家具等「ごみ出し支援事業」を開始

● 森林経営管理事業を開始
(国の森林環境譲与税を活用)

● 美里水源の森をオープン

● 令和版営農会議を開始(12エリア)

● モーターボート競走事業会計から一般会計への繰出金(10億円)を
新型コロナウイルス対策等へ活用
● プレミアム付商品券事業を実施

● 中勢北部サイエンスシティへの
企業誘致完了(78社)

● 地域脱炭素宣言を表明

● カーボンニュートラルの実現に向け
各事業者と協定を締結(14件)

● プレミアム付デジタル商品券事業を実施
● 榊原温泉湯の瀬をリニューアルオープン

● モーターボート競走事業会計から
一般会計への繰出金(13億円)を基に
こども基金、学校施設整備基金を創設
● 地域脱炭素推進プラットフォームを開業
● くらし応援津市プレミアム付商品券事業を実施

● センターパレスホールを民営化

● ごみ出しサポート収集事業を開始

● その他プラスチックの再商品化を開始

● ボートレース津の有料指定席エリアを
大規模リニューアル

● ボートレース津の年間最高売上を
更新(657億円)

● 地域農業の将来の在り方を定めた
地域計画を市内100地区で策定
● フェニックス通り駐車場を民営化



榊原温泉湯の瀬



カーボンニュートラルの実現に向けた協定締結



中勢北部サイエンスシティ



令和版営農会議



津インクル



森林セラピー基地

2009